

1. 目標

- (1) 教育実践に関する専門書を読解し、それを手がかりにして中学校社会科の地理的分野あるいは高等学校地理歴史科の地理 AB の学習指導案を開発できる。
- (2) とくに到達目標の達成に効果的な教材を選定・デザインしたり、Active な学習活動を計画したりして、それを実践することができる。
- (3) 社会問題を調査するフィールドワークを企画するとともに、実際にフィールドを歩き、地理の授業づくりのヒントを得ることができる。

2. 授業計画

- (1) 10月27日(火) ガイダンス, スケジュールの説明, 担当日の決定
＜文献研究と授業づくり＞
- (2) 11月10日(火) ①:『新社会科授業づくりハンドブック 中学校編』
②: 第1章と第6章を分析し、見取り図をもつ... (池田, 渡邊)
- (3) 11月17日(火) ①:『新社会科授業づくりハンドブック 中学校編』から1節を選ぶ
②: ①で選んだ節の内容を分析し、その構造と結論を報告する
③: ②のコンセプトに準拠して、1時間の指導案をつくる... (池田)
- (4) 11月24日(火) 上に同じ... (渡邊)
- (5) 12月01日(火) 上に同じ... (杉若)
- (6) 12月15日(火) 上に同じ... (山口)
＜フィールドワーク＞
- (7) 12月22日(火) ①: 2泊3日, 韓国・北朝鮮国境の非武装地帯, 調査プラン
②: なんのため, 何を, どのような視点でみるか... (山口, 杉若)
＜模擬授業＞
- (8) 1月12日(火) ①: 前の意見交換を踏まえて, 指導案の改善版を示す
②: 30分のダイジェスト版に圧縮して, 模擬授業を行う... (池田)
- (9) 1月19日(火) 上に同じ... (渡邊)
- (10) 2月16日(火) 上に同じ... (杉若) 1コマ目
- (11) 2月16日(火) 上に同じ... (山口) 2コマ目
- (12) 2月08日(月) 3-4コマ目, 「教師教育」の講演会の参加する

3. 留意点

- ・取り上げるハンドブックの節は、発表の1週間前に教員&TAと受講生に伝える。
- ・発表資料は、発表前日の18時までに、草原にメール添付で送付する。
- ・発表の内容や方法で困ったときは、草原かTA(M2の小川, 佐々木)に相談する。
- ・フィールドワークは、3月9日(水)～11日(金)前後を予定。予算は5万円程度。